

①概要 串間市かんしょ産地対策会議

○ 青果用かんしょの産地である串間市では、近年「サツマイモ基腐病」による甚大な被害を受けており、県、串間市、JA、農業法人等が参画し、令和元年7月、「串間市かんしょ産地対策会議」を設立。

○ 同会議は、防除体制の強化と防除効果の確立を図るため、若手生産農家を中心に「ドローン防除受託組合」を設立し、活動を支援。



ドローン防除受託組合

②サービス内容等

○ 防除受託組合では、JAと連携し、串間市全域のかんしょ生産者からほ場の防除作業を受託。

- ▶ オペレーター 8名（若手生産者やJA職員）
- ▶ ドローン 3機（内リース1機）



ドローンによるかんしょほ場の農薬散布

③支援実績等

○ 受託面積

令和元年度 50 ha



令和2年度 251 ha

- 生産現場では、労働力の軽減や生産性の向上（病虫害被害の抑制）に繋がることが確認できた。
- 委託した農家からは、広域防除による効果等もあり好評を得ており、今後も防除委託の増加が見込まれる。

④課題・今後の展開等

- 今後は、ドローン防除受託組合による水稻防除も視野に入れ、防除作業の支援や、効率的な防除体制の推進を図る。
- ドローンセンシング技術を活用し、病害発生や生育状況等を把握し、農家へのリアルタイムな生産指導を行う体制を整備する。



串間市かんしょ産地対策会議

⑤連絡先等(事業者)

串間市 農業振興課 かんしょ産地対策室
0987-55-1140